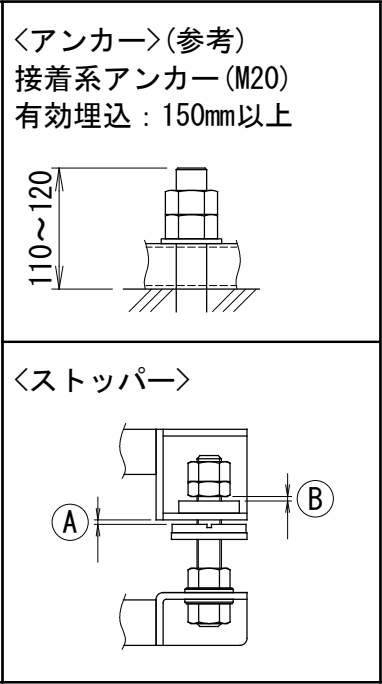
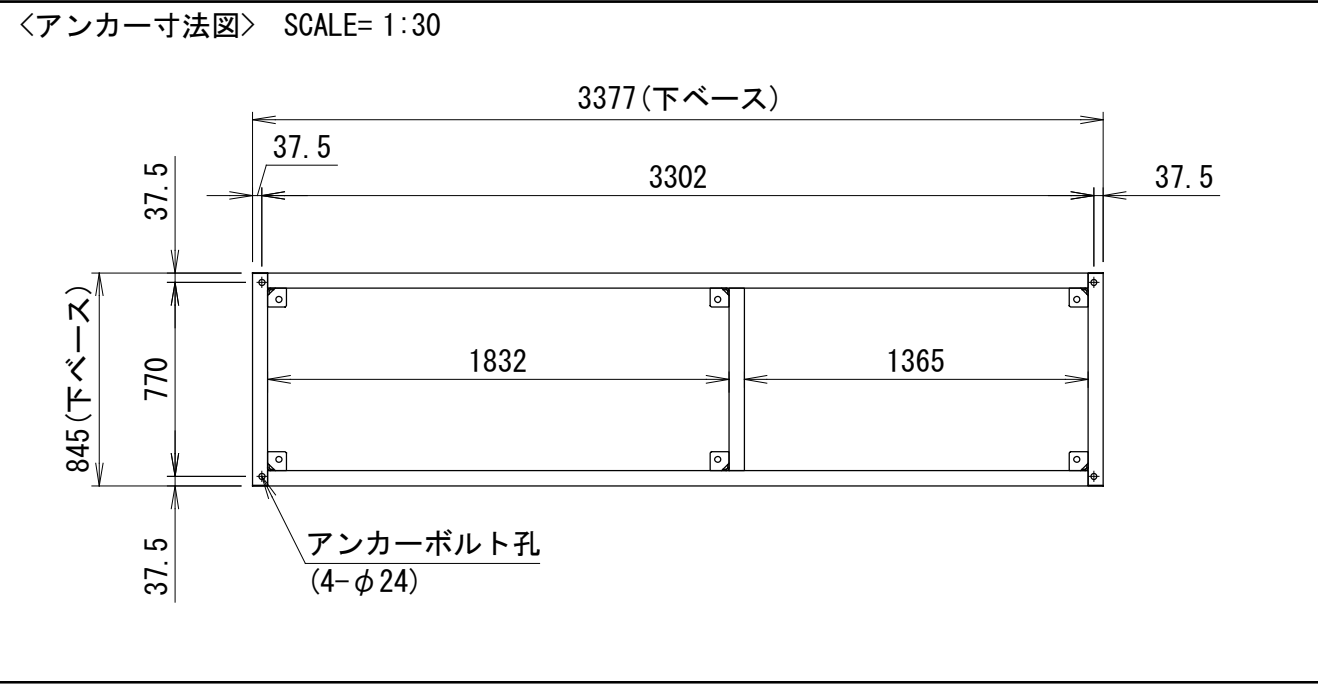
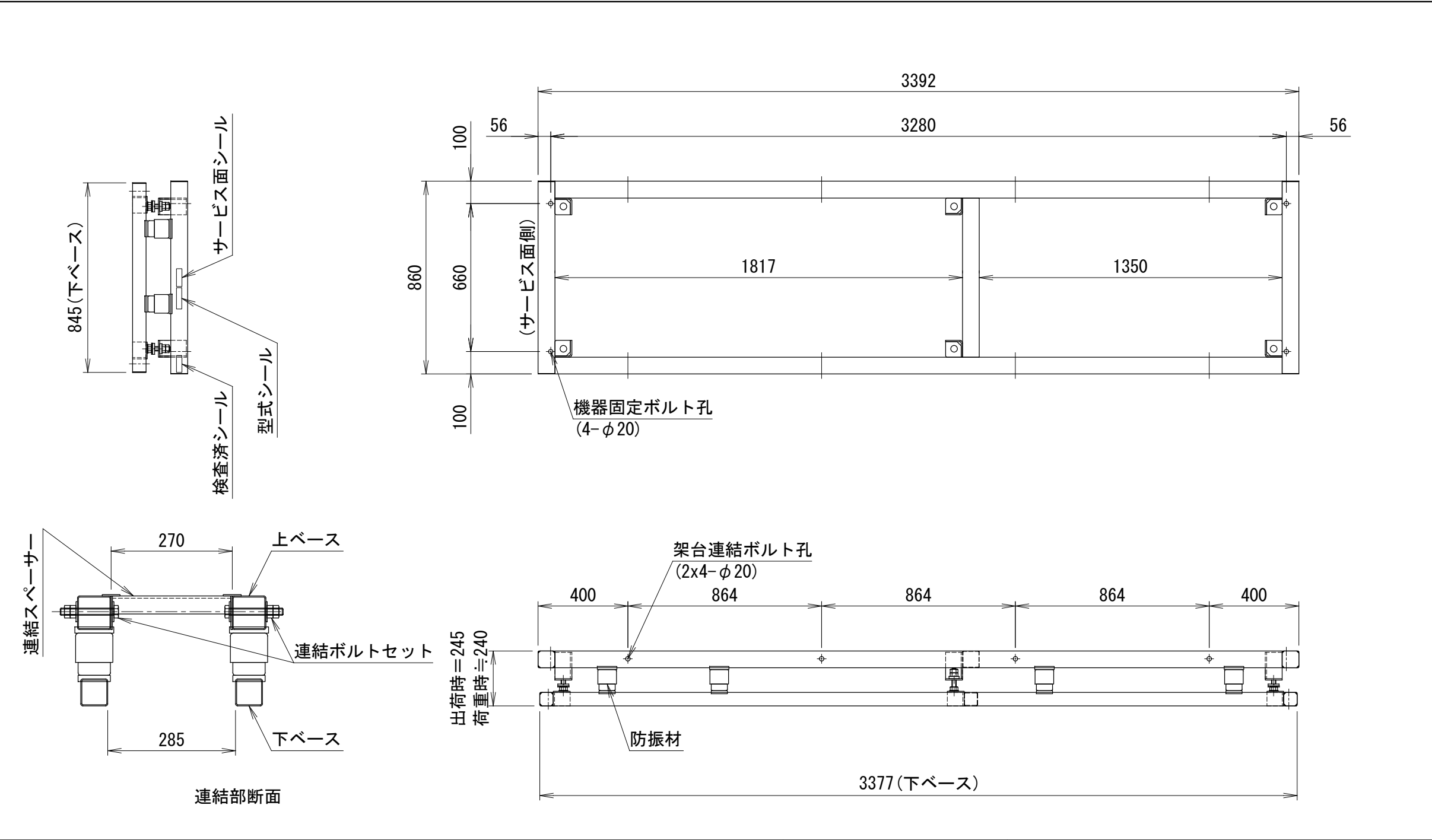




＜注記＞

1. 架台の据え付け
据付面の水平を確保願います。
不連続基礎や鉄骨への設置では支持面積を極力
広くしてください。
2. アンカーボルトは含まれておりません。
先様にてご用意ください。
3. 防振材の初期配置は理論上のものです。
状況に応じてレベル調整をお願い致します。
レベル調整は防振材の移動で行います。
4. ストッパーの調整
機器設置後に左図 ① ② 共に1～2mm程度
隙間を開けてください。
5. 品質改善のため製品の仕様は予告無く変更する
場合があります。

防振架台仕様書				
型式				
機器				
現場名				

系統名				
架台質量		106 kg		
防振材(コイルスプリング)				
NS259-180		11. 59[kgf/mm]	12 個	
上ベース	□75x75xt2. 3	54. 2 kg		
下ベース	□60x60xt2. 3	40. 5 kg		
耐震ストッパーボルト M20		6 本		
耐震基準		水平 2. 0 G, 鉛直 1. 0 G		
表面処理		溶融亜鉛めっき HDZT56		
適用地域		標準・塩害地域		
<付属品>				
機器固定ボルト		溶融亜鉛めっき		
M16x120L (平Wx2, NTx2付)		4 組		
架台連結ボルト		溶融亜鉛めっき		
M16x120L (角Wx2, NTx2付)		8 組		
連結スペーサー		溶融亜鉛めっき		
		4 組		
<備考>				